

SBS方式の輸入米に係る調査について

- ・ SBS方式による輸入米に関して、「輸入業者と買受業者間の金銭のやりとり」が行われているとの報道があったことから、現在、輸入業者、買受業者等の関係業者に対し、金銭のやりとりの有無、あった場合の金銭の趣旨等についてヒアリングするとともに、SBS米の入札と国産米価格の関係の分析等を行っているところ。
- ・ 本件に関しては、総合的に全体としてご理解頂けるよう、作業を急いでいるところであり、できる限り早期に取りまとめて公表することとしたい。

平成28年9月30日 農林水産省

SBS方式の輸入米に係る調査について

○調査の趣旨

SBS米取引（輸入業者、国、買受業者の3者契約）については、今回報道されているケースにおいても食糧法令上の問題はないが、報道されている民間事業者間の金銭のやりとりについて、民間事業者間の問題とはいえ、生産者に不信感を生じさせるとの問題も指摘されていることから、念のため、農林水産省が調査を実施。

○調査の内容

（1）関係事業者からのヒアリング

＜対象＞

SBS米落札業者（買受業者100者以上、輸入業者20者以上）等の関係事業者

＜項目＞

- ・金銭のやりとりの有無
- ・金銭の活用方法
- ・金銭のやりとりが生じた背景・目的 等

（2）関連データの分析

（3）その他

SBS方式の輸入米に係る調査について

○調査の趣旨

SBS米取引（輸入業者、国、買受業者の3者契約）については、今回報道されているケースにおいても食糧法令上の問題はないが、報道されている民間事業者間の金銭のやりとりについて生産者に不信感を生じさせるとの問題も指摘されていることから、調査を実施。

○調査の内容

（1）関係事業者からのヒアリング

＜対象＞

- 買受業者及び輸入業者については、契約書が保存されている直近5年間のSBS米落札業者（買受業者120者、輸入業者27者）のうち、
 - ・ 廃業者や連絡がつかない者を除く全ての業者から、
(買受業者113者、輸入業者26者)
- 中食・外食事業者については、
 - ・ SBS米の使用実績がある者から、
それぞれヒアリング（電話・面談）を実施。

<項目>

【買受業者・輸入業者】

- ・ 金銭のやりとりの有無

【金銭のやりとりがあった輸入業者】

- ・ 金銭のやりとりが生じた背景・目的

【金銭のやりとりがあった買受業者】

- ・ 受け取った金銭の活用方法（SBS米の販売価格の決定の際の主な考慮事項等関連事項を含む。）

【買受業者のうち、主要卸売業者】

- ・ 国産米の販売価格形成の考え方
- ・ 米の流通価格の形成に係る事情

【中食・外食業者】

- ・ 国産米とSBS米の選択の考え方

(2) 関連データの分析

- ・ 国産米の価格とSBS落札数量の関係
- ・ SBS入札落札状況
- ・ 国産米の価格とSBS入札との関係
- ・ 国産米の相対取引価格（年産別、年産ごとの月別）
- ・ 国産米とSBS米の小売価格の状況

(3) その他

重要議案の審査時間

(昭和50年以降)

平成27年9月現在

委員会	設置日	議案	審査日数	総質疑時間（割当）
社会保障・税特委	180回 平成24年4月26日	年金制度改革関連2法案 子ども・子育て支援関連3法案 税制改革関連2法案 社会保障制度改革推進法案(民主、自民、公明) 就学前子ども教育保育提供推進法改正案(民主、自民、公明)	24日	118時間35分
郵政特委	162回 平成17年5月20日 (及び163回(特別))	郵政民営化関連6法案	23日+ 特別会3日 計26日	116時間40分 (2国会計)
平和安全特委	189回 平成27年5月19日	平和安全法制2法案 平和安全整備法制2法案(維新) 領域警備法案(民主、維新)	23日	108時間20分
教育基本特委	164回 平成18年5月11日 (~165回)	教育基本法案 日本国教育基本法案(民主)	24日	98時間35分
政治改革特委	128回(臨時) 平成5年9月21日	政治改革関連4法案 政治改革関連5法案(自民)	20日	96時間20分
税制問題特委	113回(臨時) 昭和63年9月9日	税制改革関連6法案	22日 <small>※リクルート問題の調査を含む (法案審査は20日)</small>	88時間5分 <small>※リクルート問題の調査を含む (法案質疑は79h50)</small>
国際平和協力特委	121回(臨時) 平成3年9月17日(~123回)	国連平和協力関連2法案	17日	89時間5分
行財政改革特委	95回(臨時) 昭和56年10月6日	行政改革推進法案	13日	84時間
防衛指針特委	145回 平成11年2月16日	日米防衛協力のための指針 関連3案件	13日	83時間55分

民進党「米価格偽装解明チーム」日程

9/23(木)

14:00 解明スタート

9/26(月)

11:00

17:00

9/27(火)

11:30

16:30

9/28(水)

13:00

9/29(木)

★1回目

12:00

予算委理事会

13:00

16:30

9/30(金)

★2回目

8:35 予算委理事会

※予算委基本的質疑 1日目

10/7(金)

11:00

14:30

10/11(火)

16:00

10/12(水)

17:30

10/13(木)

16:00

10/14(金)

★3回目

12:00 TPP 特委理事会

1枚

SBS方式の輸入米に係る調査について

- SBS方式による輸入米に関して、「輸入業者と買受業者間の金銭のやりとり」が行われているとの報道があったことから、現在、輸入業者、買受業者等の関係業者に対し、金銭のやりとりの有無、あった場合の金銭の趣旨等についてヒアリングするとともに、SBS米の入札と国産米価格の関係の分析等を行っているところ。

- 本件に関しては、総合的に全体としてご理解頂けるよう、作業を急いでいるところであり、できる限り早期に取りまとめて公表することしたい。

日付も作成者名もなし！



委託附予算委員会理事会提出資料
平成28年9月30日 農林水産省

SBS方式の輸入米に係る調査について

○調査の趣旨

SBS米取引（輸入業者、国、買受業者の3者契約）については、今回報道されているケースにおいても食糧法上の問題はないが、報道されている民間事業者間の金銭のやりとりについて、民間事業者間の問題とはいえ、生産者に不信感を生じさせるとの問題も指摘されていることから、念のため、農林水産省が調査を実施。

○調査の内容

(1) 関係事業者からのヒアリング

<対象>

SBS米落札業者（買受業者100者以上、輸入業者20者以上）等の関係事業者

<項目>

・金銭のやりとりの有無

・金銭の流通方法

・金銭のやりとりが生じた背景・目的 等

(2) 関連データの分析

(3) その他



1枚

委託附予算委員会理事会提出資料
平成28年10月14日 農林水産省

SBS方式の輸入米に係る調査について

○調査の趣旨

SBS米取引（輸入業者、国、買受業者の3者契約）について
1. 今回報道されているケースにおいても食糧法上の問題はない
2. 報道されている民間事業者間の金銭のやりとりについて生産者に不信感を生じさせるとの問題も指摘されていることから、調査を実施。

○調査の内容

1) 関係事業者からのヒアリング

○ 買受業者及び輸入業者について、契約書が作成されている
最近5年以内のSBS米落札業者（買受業者100者、輸入業者278者）のうち、
・ 廉算率や落札額がつかない者を除く全ての業者から。
（買受業者113者、輸入業者26者）

○ 中食・外食事業者については、

・ SBS米の使用実績がある者から、

それぞれヒアリング（電話・訪問）を実施。

2枚

○調査の趣旨

・買受業者・輸入業者

・金銭のやりとりの有無

○調査の内容

・買受業者からのヒアリング

○ 買受業者及び輸入業者について、契約書が作成されている

最近5年以内のSBS米落札業者（買受業者100者、輸入業者278者）のうち、
・ 廉算率や落札額がつかない者を除く全ての業者から。
（買受業者113者、輸入業者26者）

○ 中食・外食事業者については、

・ SBS米の使用実績がある者から、

それぞれヒアリング（電話・訪問）を実施。

(3) その他

米国側からの 「約束」

U.S. Rice: Japan's Commitments

Commitments	Documented	Undocumented
TPP: U.S. TRQ	Up to 70,000 mt annually	
Quantity	Drops 15% a year—for up to two years—if U.S. TRQ does not fill	Set at ¥22/kg (\$196/mt)
Markup	Changes to some functions	
SBS System Administration		
WTO TRQ:		
Quantity	60,000 mt specifically allocated for imports of medium-grain rice used for processing	80 percent (48,000 mt) guaranteed to the United States

Sources: USTR, TPP full text, Annex 2-D; S.-Japan Letter Exchange on Operation of SBS Mechanism (accessed February 19, 2016); USA Rice Federation, written submission to USITC, February 16, 2016.

United States International Trade Commission

Trans-Pacific Partnership Agreement: Likely Impact on the U.S. Economy and on Specific Industry Sectors

May 2016
Publication Number: 4607
Investigation Number: TPA-105-001

Chapter 3: Food and Agricultural Products
subject to a markup and to chemical testing, which U.S. industry has stated could deter some trade.³⁸

Box 3.4: U.S. Rice and Market Access to Japan: Documented vs. Undocumented Commitments

The ultimate net impact of the TPP Agreement on the U.S. rice industry depends on actual access achieved under the TPP. Some of the documented commitments made by the U.S. side, as well as those made by U.S. rice industry representatives, are not documented in the official TPP Agreement text or corresponding side letter. These include Japan retaining a majority of the new medium-grain rice access under a WTO TRQ and the U.S. side accepting a 15% annual reduction in its medium-grain rice export quota in this box.

Additionally, there is uncertainty as to the fill rate of the U.S. TRQ guaranteed by the Japanese government. The Japanese government has indicated that it will provide a “fill rate guarantee” for the U.S. TRQ, which may regard the U.S. TRQ merely as providing Japan with an option to fully fill it or not.³⁹ There is also the potential for the Japanese government to change its policy on the TRQ after the TPP is implemented, which would affect the level of U.S. exports. Industry representatives are also concerned that, although the side letter included commitments to improve it, the SBS (simultaneous buy-sell) system could still deter shipments. The ultimate net impact of the current SBS system resulted in only a 20 percent fill rate for 2015.

U.S. Rice: Japan's Commitments

Commitments	Documented	Undocumented
TPP: U.S. TRQ	Up to 70,000 mt annually	
Quantity	Drops 15% a year—for up to two years—if U.S. TRQ does not fill	Set at ¥22/kg (\$196/mt)
Markup	Changes to some functions	
SBS System Administration		
WTO TRQ: Quantity	60,000 mt specifically allocated for imports of medium-grain rice used for processing	80 percent (48,000 mt) guaranteed to the United States

Sources: TPP full text, Annex 2-D; S.-Japan Letter Exchange on Operation of SBS Mechanism (accessed February 19, 2016); USA Rice Federation, written submission to USITC, February 16, 2016.

38. Industry representatives, interview by USITC staff, February 24, 2016.

39. www.usitc.gov